

今回の補助講座では「相互支援で支援を伸ばす思考法」についてお伝えします。

クラウドファンディングは、周りの方のご協力が無いと成立しないビジネスモデルです。なので、周りの方への支援依頼がプロジェクトの成功の肝となるわけですが、「お願いばかりの人」にあなたは支援したいと思うでしょうか？
できれば、「恩義がある方」に支援したいと思いませんか？

この考え方と、ファンディングを紹介できるグループを活用すると、支援を大きく伸ばすことができます。

ファンディングを紹介できるグループとは、我々クラファンLABOが最初にご案内した、FBグループやLINEのオープンチャットのグループのことです。

※登録がまだの方は絶対登録してくださいね！

■クラファンLABOプロジェクト紹介FBグループ

<https://www.facebook.com/groups/1294745384223670/>

■クラファンLABOプロジェクト紹介LINEのオープンチャット

https://line.me/ti/g2/cEbhTuhXrMWLmf0LyG12lw?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

このグループ以外にも「クラウドファンディング」で調べると結構自身のクラウドファンディングを紹介できるFBグループが存在します。

そこにまずは片っ端から登録して参加してください。下記が管理人オススメのFacebookのグループです。

①クラウドファンディングってすごいね！

https://www.facebook.com/groups/430139707326636/?multi_permalinks=1391137361226861

②クラウドファンディングプロジェクト情報

https://www.facebook.com/groups/802599363123632/?multi_permalinks=3817701011613437

③クラウドファンディング・ジャパン

https://www.facebook.com/groups/crowdfundingjapan/?multi_permalinks=1357772644569131

④クラウドファンディング情報共有グループ

<https://www.facebook.com/groups/camposaka/>

登録したら、あなたが立ち上げたクラウドファンディングの紹介と、支援の依頼をガンガンしていくわけですが、ここで支援を集めるポイントがあります。

我々が絶対に行う、具体的なステップをお教えしますね。

- ①まず、そのグループで紹介している最近のクラファン投稿に片っ端から「超いいね」を押す。
- ②その投稿たちに応援のコメントをしてあげる。
- ③現在進行系で募集をしているファンディングであれば最低額の支援を実際にする。
- ④支援をした旨をコメントで投稿主にお伝えをする。
- ⑤ここで初めて自分のプロジェクトの支援依頼を投稿する。

です！

すごく簡単に言うと、「まずは自分からGiveする」ということですね。

これを行うと、すごい効果があります。

例えば現在進行形でプロジェクトが進行中のクラファンに最低額1000円×10プロジェクト支援をしたとしましょう。

1万円あなたは身銭を切るわけです。

しかし、返報性の法則により、支援を受けたプロジェクト主は必ずと言っていいほど、お礼の支援をあなたのファンディングにもしてくれて、コメントをしてくれ、いいねも押してくれます。

つまり、ここで10人×1000円=1万円は支援をもらってほぼ元が取れるわけです。そして、そのグループを見ている人からあなたはこう映ります。

「クレクレ君ではなくて、与えられる人なんだ...応援したいな」と。

クレクレ君とはネットビジネス系の用語で、お金は払わないけど情報は欲しい、というこの世で一番嫌われるタイプの人を指します(笑)

周りから「応援したい人」認定を受けたあなたの投稿はいいねとコメントが多く付きます。つまり目立つわけです。そうすると、他の人の支援も誘発するので、あなたが支援して使った金額以上の支援を得られますし、うまくすれば1日そのグループだけで20人とかの支援を頂くことができます。

こうなると、あなたが投稿しているジャンルでの「人気のプロジェクト」にそれだけで載る可能性が出てきます。

ここに載ると、アクセスは10~30倍ほどになるので、更に支援が集まるという好循環に入ります。

いかがだったでしょうか？

まずはあなたがGiver(与える人)になると、勝手に支援が集まるようになります。これはクラウドファンディング以外のビジネスでもそうです。

我々が0円からこの講座を提供しているのも、この「Giveする人に富は集まる」という法則を知っているからです。

ぜひ実行してみてくださいね！